

**POWER EGG3.0 Ver3.1c Patch 2 修正内容**2021年1月12日  
ディサークル株式会社**1. 修正一覧（経費精算以外）**

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「3. 留意事項」を参照ください

スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール1週間画面で、「Enter」キーで検索が行われない、また、矢印キーで日付を変更する場合に日付の年が2桁になる（#30301）★</li> <li>システム設定のスケジュールの初期表示画面設定を「1週間」と設定している場合、過去に個人設定でスケジュールの初期表示画面の設定を行っていないユーザのスケジュール初期表示画面設定に反映されない（#30815）</li> </ul>
ワークフロー
<ul style="list-style-type: none"> <li>採番ルールリスト：採番ルールの番号構成の明細の順序を変更したのに採番ルールリストの出力結果に反映されない（#30175）</li> <li>印刷対象データが存在しない場合の様式・種別リストの出力結果が統一されていない（#30187）</li> <li>申請様式の設定 - 採番ルールの登録画面で、採番ルールの文字数チェックの挙動がサーバーOSによって異なる（#30197）★</li> <li>申請案件照会の申請日・決裁日欄でカレンダーから日付を選択した時、申請種別のリストボックスの値が更新されない（#30710）</li> </ul>
データベース共通
<ul style="list-style-type: none"> <li>組織図レベル=nまでの上司に通知すると設定しており、上位部門のレベルが飛んでいる場合、設定しているレベルより上の上司に通知が行われる（#30011）★</li> <li>外部連携設定でHTTPヘッダを2つ以上登録すると外部連携が正しく行えない（#30242）★</li> <li>WebDB 間連携項目で連携キー項目の値が未入力の場合に、埋め込んでいるレコード一覧の表示対象が全てのレコードになっている（#30278）★</li> <li>スタンプ押下・取消時の通知が行われない場合がある（#30296）★</li> <li>レコード一覧 設定した条件付き書式が、上から順に判定されていない（#30394）★</li> <li>外部 DB 参照定義に誤りがあるのに、DB 参照コード入力が入力できる場合がある（#30417）</li> <li>レコード内容表示画面のスタンプ項目で外部連携エラーが一度発生した場合、そのエラーメッセージが消えない（#30505）</li> <li>レコード一覧 Excel 出力で、レコード件数 &gt; システム指定の上限件数 &gt; ユーザ指定の上限件数の場合のメッセージが不適切（#30527）</li> <li>DB 定義取込で一覧表示画面の条件付き書式が取り込まれない（#30532）★</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使用しているユーザが、時間量計算項目に値が入力されている登録済みレコードを編集画面で開くと、時間量計算項目に不正な値が表示されることがある（#30601）★</li> <li>CSV 取り込みで、明細行の添付ファイル、イメージ項目が正しく取り込まれないことがある。また、既存レコード削除で取り込んだ時にトランザクションエラーが発生することがある。（#30651）★</li> <li>クロス集計の場合、集計結果が最大表示件数である 300 件に達していないのに集計表示画面に表示されないレコードがある（#30720）★</li> <li>一覧表示画面設定、表示編集画面設定 小数点以下の桁数を設定している数値、自動計算項目をプレビューしたとき実際には入力できない値が表示される（#30724）</li> </ul>
<p>汎用申請</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>案件検索で過去の履歴に添付されている汎用申請データベースの添付ファイル項目のファイルがキーワード検索されない（#24851）★</li> <li>退職者の過去に申請した案件を参照作成して申請するとエラー(PECertificateException)が発生（#29937）★</li> <li>汎用申請データベースで表示編集画面に「申請番号」が配置されていない場合にキーワード検索するとエラー(EJBTransactionRolledbackException)になる場合がある（#30258）★</li> <li>特定の大大分類配下の申請事項のみを表示するメニューから申請事項一覧を起動した場合の「照会・活用申請」タブの検索結果が正しくない（#30414）★</li> </ul>
<p>スマートフォン</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電子会議室投稿物一覧 上位のメニューに掲載可の権限が無い場合、「その他操作」-「新規」が表示されず新規投稿できない（#29176）</li> <li>Web データベース 内容表示画面で、スタンプの選択肢が長い場合に表示しきれず、途中で途切れてしまう（#30028）</li> <li>ナビビュー四分割画面の下半分の社内メール一覧と社内メール機能のメール一覧/メール検索結果一覧にて、転送元メールの場合に本文の先頭部分が表示されている（#30061）★</li> <li>パスワード変更に失敗したとき、エラー原因に関わらず常に「現在のパスワードが違います。」というメッセージが表示される（#30233）★</li> <li>Web データベースのイメージ項目に iPhone から jpeg ファイルを添付しようとする「JPG,GIF,PNG 形式のファイルのみ添付できます。」のエラーになる（#30292）</li> <li>データベース共通 日付時刻項目・日付時刻計算項目の時刻について、分にタイムゾーンの時差が加算された値で更新される（#30431）★</li> <li>データベース共通 DB 参照項目・WebDB 参照項目・WebDB 間連携項目が未選択にも関わらず、レコード選択画面から戻った時に「参照するレコードを選択してください。」が表示されず、途中で選択した値がセットされる（#30515）</li> <li>汎用申請で申請確認画面からルート変更を行った場合に出力されるログに件名が編集されていない（#30546）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>Web データベース DB 参照項目のレコード選択画面において、「外部 DB 参照の SQL に誤りがある」というエラーメッセージが表示されているのに「対象データがない」というメッセージも同時に表示されることがある (#30567)</li> <li>作業登録時にエラー(Cannot read property 'left' of undefined)が発生することがある (#30818)</li> </ul>
<p>リマインダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>iPhone リマインダー POWER EGG にログインできない社員の通知デバイスデータが存在している場合、通知サービスが停止し、利用者全員に対して通知が行われなくなる (#30607) ★</li> </ul>
<p>キーワード検索エンジン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インデックス作成処理 (createIndex.bat) が UnsupportedCharsetException で異常終了する場合がある (#28942)</li> <li>添付ファイル内に U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合に全文検索インデックス作成処理でエラーが発生する (#30533) ★</li> </ul>
<p>システム管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織図の作成・変更画面 会社の未所属社員一覧から申請部門へドラッグ&amp;ドロップしたとき、部門の所属が無く、申請部門にのみ所属している状態になる (#29533) ★</li> <li>システム環境の設定(テーマ設定) にて項目チェックでエラーが発生した場合に「スマートフォン四分分割ナビビュー」項目のラジオボタンが未選択状態となる (#30273)</li> <li>申請事項登録 スマートフォン申請用画面が設定されている申請事項を参照作成した場合に、画面上は正常に動作するがデータベースは不整合な値になるパターンがある (#30450) ★</li> <li>SAML 認証連携 リクエストパラメータにセットする認証要求データを DEFLATE で圧縮する (#30675)</li> </ul>
<p>その他・共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リッチテキストエディタでハイパーリンクダイアログのターゲットが正しく表示されないことがある (#25419) ★</li> <li>スマートフォン版でアクセスすると電子会議室の閲覧履歴の機能名が「掲示板」と表示される (#28902) ★</li> <li>Internet Explorer で 「この情報の URL」 欄の「その他の操作」から「スケジュールに登録」などをクリックすると『クロスサイトスクリプトを防止するために、このページは変更されました。』と表示される場合がある (#30101)</li> <li>日付選択を行うカレンダー画面で 1949 年 4 月 29 日の日付が表示されない (#30149)</li> <li>単一社員選択の社員選択画面で社員を選択せずに「確定」ボタンを押下すると再実行依頼画面が表示される (#30198)</li> <li>テキストボックス等の入力データに U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合に ajax リクエストのレスポンス解析がエラーになり「処理中」のままになる (#30329) ★</li> <li>この情報の URL の「その他の操作」に表示するメニューについて、処理の権限をチェックする (#30467) ★</li> </ul>

- 「日本の休日」カレンダーが削除されている場合、パッチの適用時にエラーが発生する (#30499)
- バッチクライアントで認証が必要なプロキシの認証エラーでサーバー接続に失敗した場合、エラー(NullPointerException)が発生する (#30557)

#### SDK API

- REST API の呼び出しでリクエストヘッダの content-type に charset が指定されていると呼び出しエラーになる (#30080)
- 非同期の MessageDrivenBean のアドオンからスケジュール登録 API、施設予約 API、作業登録 API を呼び出すとエラー(NullPointerException)が発生する (#30138) ★
- ワークフローの申請書取得 API の戻り値内の添付ファイルの fileKey が正しくない (#30153) ★
- REST API で WebDB へのレコード登録・更新時、JSON に明細行の「DB 参照」、「DB 参照コード」の項目を指定するとエラーが発生する (#30218)
- REST-API のエラー発生時のクロスサイトスクリプティング脆弱性対応 (#30368) ★
- REST-API について Content-Type に誤った指定をした場合、レスポンスで HTTP STATUS 500 のエラーになるが、ステータスとして不適切であるため修正する (#30699) ★
- REST-API で WebDB のレコード更新時、レコードに登録されていた関連情報 URL が消える (#30702) ★

## 2. 修正一覧（経費精算）

※文末に「★」があるものにつきましては留意事項がありますので、「3. 留意事項」を参照ください

交通費精算
<ul style="list-style-type: none"><li>交通費明細入力画面で駅すばあとから明細を追加した場合、申請者が使えない明細種別が選ばれることがある（#30391）</li></ul>
出張申請精算
<ul style="list-style-type: none"><li>出張精算申請入力画面で、申請日や出発日などの「日付項目」を入力してフォーカスされた状態でタブを切り替えると、画面がグレーになったまま操作できなくなることがある（#29064）</li><li>出張精算の日当・宿泊費の明細種別の大分類が"初期表示する"設定でも明細入力欄で初期表示されないことがある（#29180）</li><li>出張精算申請入力画面で、出発日時などの「時刻項目」を入力してフォーカスされた状態でタブを切り替えると、画面がグレーになったまま操作できなくなることがある（#30433）</li></ul>
駅すばあと連携
<ul style="list-style-type: none"><li>決裁された定期券申請の定期券区間が控除されない場合がある（#30295）★</li></ul>
仮払申請
<ul style="list-style-type: none"><li>仮払データが蓄積してくると仮払返金アシストメッセージの表示に時間がかかる（#30388）★</li></ul>
支払依頼申請
<ul style="list-style-type: none"><li>Firefox で起案内容表示画面の印刷用ページから印刷した時にレイアウト崩れが発生する場合があります（#30205）</li></ul>
FB データ出力
<ul style="list-style-type: none"><li>システム設定で支払依頼用のFBデータの「顧客コード1」の出力方法を設定できるようにし、その設定に基づいて支払依頼のFBデータの顧客コード1を出力するように変更（#30707）★</li></ul>
システム設定（マスタの登録）
<ul style="list-style-type: none"><li>支払先登録 支払先登録画面から銀行選択画面を開き「確定」ボタンを押すと、画面がグレーになったまま操作できなくなることがある（#30387）</li></ul>

### 3. 留意事項

#### ● 重要な留意事項

影響度が大きい不具合について、発生条件などの詳細情報を説明します。

組織図レベル= nまでの上司に通知すると設定しており、上位部門のレベルが飛んでいる場合、設定しているレベルより上の上司に通知が行われる (#30011)

発生条件：

WebDB 通知先で組織図レベル= nまでの上司に通知する設定、かつ、組織図の上位部門のレベルが飛んでいる場合

事象：

設定したレベルより上の部門の審議者に通知が行われます。

例として、レベル2がない組織階層で、組織図レベル2までの上司に通知する設定を行っていた場合、レベル3の審議者とレベル1の審議者に通知されてしまいます。

修正内容：

設定したレベルより上のレベルの審議者に通知がされないように修正しました。

なお、パッチ適用前後で以下の挙動変更があります。

修正前は、組織図の部門のレベルが飛んでいる場合に、設定したレベルよりも上の部門の審議者にも通知されていましたが、修正により通知されなくなります。

外部連携設定で HTTP ヘッダを 2 つ以上登録すると外部連携が正しく行えない (#30242)

発生条件：

Web データベースの外部連携設定で HTTP ヘッダを 2 つ以上登録している場合

事象：

HTTP ヘッダに不要な改行が混入してしまいます。結果として、連携先で正しくリクエストボディが取得できなくなります。

修正内容：

HTTP ヘッダに改行が混入しないように修正しました。

なお、パッチ適用前後で以下の挙動変更があります。

Web データベースの外部連携設定で HTTP ヘッダを 2 つ以上登録している場合、POST リクエストデータの内容が変わり、HTTP ヘッダ部分の空行がなくなります。

WebDB 間連携項目で連携キー項目の値が未入力の場合に、埋め込んでいるレコード一覧の表示対象が全てのレコードになっている (#30278)

発生条件：

連携元 DB の WebDB 間連携項目の連携キー項目に設定している値を連携先 DB で空欄にした場合(例)

1. "PC 一覧"という WebDB を登録して、以下の項目を設定する (※連携先 DB)

- ・ PC (文字列(1 行)項目、キー項目)
- ・ 利用者 (社員選択項目)
- ・ お客様 (お客様選択項目)

2. "Software 一覧"という WebDB を登録して、以下の項目を設定する (※連携元 DB)
  - ・対象 PC (WebDB 間連携項目、連携データベース = "PC 一覧"、連携キー項目 = "PC"、連携名称項目 = "PC")
  - ・Software (文字列(1行)項目)
3. "PC 一覧"に表示編集画面を登録して、WebDB 間連携として"Software 一覧"の一覧画面をレイアウト配置する  
(連携先 DB = "[Software 一覧"、一覧表示画面=" (全項目) "、WebDB 間連携項目 = "PC")
4. "PC 一覧"の PC 項目を空欄にした場合、"Software 一覧"の全てのレコードが表示される

事象：

連携先 DB に配置している連携元 DB のレコード一覧画面には、連携元 DB の全てのレコードが表示されてしまいます。

修正内容：

連携キー項目に設定している値を連携先 DB で空欄にした場合、連携元 DB のレコード一覧画面には、「(対象レコードが存在しません)」と表示されるように修正しました。

なお、パッチ適用前後で以下の挙動変更があります。

修正前は、連携元 DB の WebDB 間連携項目の連携キー項目に設定している値を連携先 DB で空欄にした場合、連携元のレコード一覧画面には、すべてのレコードが表示されていましたが、修正後は、「(対象レコードが存在しません)」と表示されるようになります。

#### スタンプ押下・取消時の通知が行われない場合がある (#30296)

発生条件：

「通知条件」が"指定レコード値"で、スタンプ項目を条件として指定している、かつ、「通知先指定」が"形式：スタンプ項目"の状態、スタンプ押下または取消した場合

事象：

スタンプ押下・取消したレコードが通知条件を満たしているにもかかわらず、通知が行われません。

修正内容：

正しく通知されるように修正しました。

#### レコード一覧 設定した条件付き書式が、上から順に判定されていない (#30394)

発生条件：

条件付き書式が複数登録されている場合

事象：

本来、条件付き書式は上から順に判定し、最初に合致した条件の書式で表示される仕様ですが、判定順番が内部で指定されておらず、順不同で条件が判定され別の条件が合致する場合があります。

修正内容：

条件付き書式が上から順に判定されるように修正しました。

DB 定義取込で一覧表示画面の条件付き書式が取り込まれない (#30532)

発生条件：

条件付き書式が設定された一覧表示画面があるデータベースから、DB 定義情報を出し、その DB 定義情報を取り込んだ場合

事象：

出力したデータベースの定義を取り込んだ際、一覧表示画面の条件付き書式が取り込まれません。

修正内容：

一覧表示画面の条件付き書式が取り込まれるように修正しました。

本パッチを適用しても、不具合の影響を受けた一覧表示画面は正しい状態（条件付き書式が設定された状態）に更新されません。そのような一覧表示画面が存在した場合は、再度 DB 定義を取り込んでいただくことで、条件付き書式の設定も取り込まれます。

英語を使用しているユーザが、時間量計算項目に値が入力されている登録済みレコードを編集画面で開くと、時間量計算項目に不正な値が表示されることがある (#30601)

発生条件：

下記の条件を全て満たす場合

- ・多言語オプションを導入している
- ・個人設定で「言語」として「英語」を設定しているユーザが対象のデータベースで下記の操作を行う（日本語、中国語では発生しない）
  - 時間量計算項目に値が入力されている登録済みレコードを編集画面で開く
- ・対象のデータベースで下記の設定を行っている
  - 時間量計算項目を使用している
  - 表示編集画面のレイアウト編集で時間量計算項目を「表示区分」="表示用"として配置している
  - 時間量計算の計算方法 = "日付時刻の差"で、日付時刻項目を使用している

事象：

レコード編集画面を開いた時、時間量計算項目に不正な値（登録されている値とは異なる値）が表示されてしまいます。また、不正な値が表示された状態のまま更新を行うと、不正な値でデータが更新されてしまいます。

修正内容：

正しい値が表示されるように修正しました。

もし不正な値で更新してしまったデータがあった場合、本パッチを適用しても、データは正しい値に更新されません。そのようなデータが存在した場合は、再度レコード編集することで、正しい値に更新されます。

CSV 取り込みで、明細行の添付ファイル、イメージ項目が正しく取り込まれないことがある。また、既存レコード削除で取り込んだ時にトランザクションエラーが発生することがある。（#30651）

当修正では、2つの問題に対処しています。

問題① CSV 取り込みで、明細行の添付ファイル、イメージ項目が正しく取り込まれないことがある

発生条件：

以下の条件を全て満たす場合

- ・明細行のフィールドとして添付ファイル／イメージ項目が登録されているデータベースに対して CSV 取り込みを行った場合
- ・取り込み用の CSV ファイルにて、明細行が 2 行以上ある、かつ、各明細行の添付ファイル／イメージ項目に異なるファイルが設定されているレコードがある場合

事象：

全ての明細行の添付ファイル／イメージ項目が、CSV ファイルの末尾の明細行の添付ファイル／イメージ項目に設定されているファイルで取り込まれてしまいます。

修正内容：

明細行の添付ファイル、イメージ項目が CSV ファイルに指定した通りに取り込まれるように修正しました。

問題② CSV 取り込みで、「既存レコード削除」を「削除する」で取り込みを行った場合、デットロックエラーが発生し、「CSV 取込中」の状態のままになることがある

発生条件：

「既存レコード削除」を「削除する」で取り込みを行い、かつ、取り込み中に対象のデータベースのレコード一覧画面で検索を行った場合

事象：

デットロックエラーが発生します。また、「CSV 取込中」の状態のままになってしまいます。

修正内容：

エラーが発生した場合は、CSV 取り込みを異常終了させ、取り込み前の状態に戻るよう修正しました。

問題②について発生条件の操作をした場合、本パッチ適用後もデットロックエラーが発生します。発生条件の操作は行わないようご注意ください。

クロス集計の場合、集計結果が最大表示件数である 300 件に達していないのに集計表示画面に表示されないレコードがある（#30720）

発生条件：

集計表示設定でクロス集計を利用している、かつ、集計の分類項目（大分類、中分類、小分類）で集計した結果が 300 行より多く存在する場合

事象：

集計結果が 300 件を超えていないのに、データが全て表示されません。また、300 件を超えた場合に表示されるエラーメッセージも表示されていませんでした。

修正内容：

データが 300 件分表示されるように修正しました。また、300 件を超えた場合にエラーメッセージを表示するように修正しました。

案件検索で過去の履歴に添付されている汎用申請データベースの添付ファイル項目のファイルがキーワード検索されない (#24851)

発生条件：

前提条件として、下記の 2 つの条件を満たしている場合が対象となります。

- ・ 申請事項のフォーマットとして汎用申請データベースを利用している
- ・ 申請入力の表示編集画面に添付ファイル項目がある

発生条件は、下記の操作を行った場合

1. 申請入力欄の添付ファイル項目にファイルを添付する
2. 申請→取り下げ→再申請する
3. 案件検索で添付ファイルをキーワード検索する

事象：

3 の手順で過去履歴の添付ファイルが検索されません。

修正内容：

過去履歴の添付ファイルも検索されるように修正しました。

本パッチを適用しても、既に不具合の影響を受けた申請の過去履歴の添付ファイルはリカバリされないため、検索されません。本パッチ適用後の申請については、過去履歴の添付ファイルも検索されます。

退職者の過去に申請した案件を参照作成して申請するとエラー(PECertificateException)が発生 (#29937)

発生条件：

汎用申請の「照会・活用申請」タブにおいて、検索欄の「申請者」で退職者（退職日が指定されていて、現行組織に所属なし）を指定して検索し、その退職者が過去に申請した案件を参照作成して申請した場合

事象：

PECertificateException というエラーが表示され、操作不可になります。

修正内容：

エラーが発生しないように修正しました。

汎用申請データベースで表示編集画面に「申請番号」が配置されていない場合にキーワード検索するとエラー(EJBTransactionRolledbackException)になる場合がある (#30258)

発生条件：

下記条件を満たし、キーワード検索した場合

- ・ 汎用申請データベースである
- ・ 「全項目」の表示編集画面が「使用しない」になっているか、ログインユーザに「全項目」画面の権限が無い

- ・ 「全項目」以外のログインユーザが参照可能な表示編集画面に「申請番号」が配置されていない
- ・ ログインユーザが参照可能権限を持っている表示編集画面に汎用申請データベースの「申請番号」、「申請受付番号」以外のシステム標準項目（申請者、申請日、…）が1つ以上配置されている
- ・ 表示中の一覧表示画面には、汎用申請データベースのシステム標準項目（申請者、申請日、…）が1つも配置されていない、選択中の「絞込み条件」、「個人用絞込み条件」、「詳細検索の条件」には汎用申請データベースのシステム標準項目が利用されていない

事象：

EJBTransactionRolledbackException エラーが発生し、検索に失敗します。

修正内容：

エラーが発生せず、正常に検索できるように修正しました。

特定の大分類配下の申請事項のみを表示するメニューから申請事項一覧を起動した場合の「照会・活用申請」タブの検索結果が正しくない（#30414）

発生条件：

前提条件として、下記の場合が対象となります。

- ・ 特定の大分類配下の申請事項のみ表示する申請事項一覧のメニューを追加している（起動パラメタで特定の大分類コードを指定している）

発生条件は、下記の操作を行った場合

1. 前提条件に記載のメニューから申請事項一覧を起動する
2. 「照会・活用申請」タブに切り替える。この時、左ペインの申請分類ドロップダウンで「すべて」が選択状態になっている場合

事象：

メニューで指定されている大分類コードに関わらず全ての申請事項が検索されてしまいます。

修正内容：

メニューで指定されている大分類コードの申請分類のみ検索されるように修正しました。

ナビビュー四分画面の下半分の社内メール一覧と社内メール機能のメール一覧/メール検索結果一覧にて、転送元メールの場合に本文の先頭部分が表示されている（#30061）

発生条件：

下記の操作を行った場合

1. すでに送信したメールを自分が転送する
2. すでに受信したメールが自分宛てに転送される

事象：

1. の操作を行った場合：自分の送信箱、メール検索結果一覧において、本来、件名のみ表示されるところ、転送した元のメールは、件名と本文の先頭部分が表示されてしまいます。

2. の操作を行った場合：自分の受信箱、ナビビュー4 分割画面に表示される社内メール一覧、社内メール検索結果一覧で同様の現象が発生します。

これらの現象はスマートフォン版でのみ発生します。

修正内容：

表示方法を統一し、転送元メールの場合も件名のみ表示されるように修正しました。

パスワード変更に失敗したとき、エラー原因に関わらず常に「現在のパスワードが違います。」というメッセージが表示される（#30233）

発生条件：

スマートフォン版のパスワード変更画面で、パスワード変更に失敗した場合

例：パスワードに使用できない文字(マルチバイト文字など)を新パスワードに入力する

事象：

エラー原因に関わらず「現在のパスワードが違います。」というメッセージが表示されていました。

修正内容：

エラー原因に応じたメッセージが表示されるように修正しました。

データベース共通 日付時刻項目・日付時刻計算項目の時刻について、分にタイムゾーンの時差が加算された値で更新される（#30431）

発生条件：

前提条件として、下記の場合が対象となります。

・日付時刻項目・日付時刻計算項目を配置したスマートフォン版用の表示編集画面を作成し利用している

発生条件は、下記の通り。

個人設定でタイムゾーンを GMT+00:00 以外(東京は GMT+09:00)に設定しているユーザが、上記のスマートフォン版の表示編集画面で日付時刻項目を入力、または、日付時刻計算項目の計算要素となる項目を入力した場合

事象：

日付時刻項目・日付時刻計算項目の時刻について、分にタイムゾーンの時差が加算された値が表示され、その状態で更新すると誤った値で更新されてしまいます。

例：タイムゾーンを GMT+09:00 と設定した場合、本来"19:00"と計算されるべきところ、"19:09"と表示される

修正内容：

正しい値が表示されるように修正しました。

本パッチを適用しても、不具合の影響を受けたデータは正しい値に更新されません。そのようなデータが存在した場合は、再度データを編集することで正しい値に更新されます。

iPhone リマインダー POWER EGG にログインできない社員の通知デバイスデータが存在している場合、通知サービスが停止し、利用者全員に対して通知が行われなくなる（#30607）

発生条件：

過去に iPhone リマインダーを利用していた社員が退職などで POWER EGG にログインできない状態になった場合など。

この場合、内部的に POWER EGG にログインできない社員の通知対象デバイスデータが残りますが、その状態で通知処理が動くとエラーになり、通知サービスが停止していました。

事象：

通知サービスが停止し、iPhone リマインダー利用者全員に対して通知が行われなくなります。

修正内容：

上記の発生条件の場合でも、通知サービスが停止せず、正常に通知が行われるように修正しました。

内部的には、POWER EGG にログインできない社員の通知対象デバイスデータを削除するように修正しました。

添付ファイル内に U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合に全文検索インデックス作成処理でエラーが発生する (#30533)

発生条件：

文字コードが U+FFFE, U+FFFF の文字が存在するファイルが添付されている場合

なお、U+FFFE, U+FFFF の文字は、通常の入力方法では入力できません。文書ファイルや Web サイトなどからコピー & ペーストして入力した場合に混入する可能性があります。

事象：

キーワード検索エンジンのインデックス生成中にエラーが発生します。

修正内容：

インデックス生成時、U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合は除去し、エラーが発生ないように修正しました。

組織図の作成・変更画面 会社の未所属社員一覧から申請部門へドラッグ&ドロップしたとき、部門の所属が無く、申請部門にのみ所属している状態になる (#29533)

発生条件：

下記の操作を行った場合

1. 組織図の作成・変更画面を起動し、左ペインで会社を選択する
2. 社員配属タブで未所属社員を検索する
3. 検索結果からドラッグ&ドロップで申請部門へ配属する

事象：

本来、部門と申請部門両方に所属した状態になるはずが、申請部門にのみ所属した状態でデータベースが更新されます。

修正内容：

部門と申請部門両方に所属した状態でデータベースを更新するように修正しました。

本パッチを適用しても、不具合の影響を受けたデータは正しい値に更新されません。そのような所属が存在した場合は、一度所属を削除して新規に所属を登録してください。

申請事項登録 スマートフォン申請用画面が設定されている申請事項を参照作成した場合に、画面上は正常に動作するがデータベースは不整合な値になるパターンがある（#30450）

発生条件：

下記の操作を行った場合

1. 申請事項を以下のように登録する
  - ・フォーマットで"データベース"を選択する
  - ・申請用画面を設定する
  - ・スマートフォン申請用画面を設定する
2. 上記 1. で登録した申請事項を選び、フォーマットで"使用しない"を選択して参照作成する

事象：

参照作成した申請事項について、スマートフォン申請用画面の値が、画面上は正常に空白が表示されますが、内部的なデータでは不整合な値になってしまいます。なお、内部的なデータは不整合な値になりますが、操作上の不具合は発生しません。

修正内容：

正しい値で更新されるように修正しました。

リッチテキストエディタでハイパーリンクダイアログのターゲットが正しく表示されないことがある（#25419）

発生条件：

下記の操作を行った場合

1. 新規にハイパーリンクを挿入する（ターゲット項目は"なし"が選択されている）
2. 1のハイパーリンクを編集する

事象：

2の手順で、ターゲット項目は"新しいウィンドウ"が選択された状態になってしまいます。

修正内容：

ターゲット項目が正しく選択されるように修正しました。

スマートフォン版でアクセスすると電子会議室の閲覧履歴の機能名が「掲示板」と表示される（#28902）

発生条件：

下記の操作を行った場合

1. スマートフォン版で電子会議室の投稿内容を開く
2. ナビビューに戻り、メニューからブックマーク・閲覧履歴を起動
3. 機能メニューから閲覧履歴を選択

事象：

3の手順で、電子会議室の閲覧履歴の機能名が「掲示板」と表示されます。

PC版の閲覧履歴一覧で、スマートフォン版からの電子会議室の閲覧履歴を表示した時も同じ表示になります。

修正内容：

閲覧履歴の機能名が正しく表示されるように修正しました。

テキストボックス等の入力データに U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合に ajax リクエストのレスポンス解析がエラーになり「処理中」のままになる (#30329)

発生条件：

テキストボックス、リッチテキストの入力部品を使用している項目の値に、文字コードが U+FFFE, U+FFFF の文字が存在する場合

なお、U+FFFE, U+FFFF の文字は、通常の入力方法では入力できません。文書ファイルや Web サイトなどからコピー & ペーストして入力した場合に混入する可能性があります。

事象：

上記発生条件の状態のデータを一覧画面などで表示する時に、「処理中」のまま操作できなくなります。

修正内容：

データ登録時、入力データに U+FFFE, U+FFFF の文字が存在した場合、除去された状態で登録されるように修正しました。

この情報の URL の「その他の操作」に表示するメニューについて、処理の権限をチェックする (#30467)

発生条件：

グループウェアのサイトライセンスがあり、かつ、各処理に権限がない社員が、この情報の URL の「その他の操作」を選択した場合

事象：

この情報の URL の「その他の操作」に表示するメニューについて、処理の権限がチェックされていません。

例：スケジュールの権限がない社員であるにもかかわらず、「スケジュールに登録」などのメニューが表示されます。

修正内容：

権限がない社員にはメニューが表示されないように修正しました。

なお、パッチ適用前後で以下の挙動変更があります。

修正前は、グループウェアのサイトライセンスがある社員の場合、この情報の URL の「その他の操作」に「スケジュールに登録」、「作業に登録」、「社内メールに登録」が表示されていましたが、修正後は、グループウェアのサイトライセンスがあり、かつ、該当の処理の権限がある社員の場合、表示されるようになります。

非同期の MessageDrivenBean のアドオンからスケジュール登録 API、施設予約 API、作業登録 API を呼び出すとエラー (NullPointerException) が発生する (#30138)

発生条件：

MessageDrivenBean のアドオンからスケジュール登録 API、施設予約 API、作業登録 API を呼び出した場合

事象：

NullPointerException エラーが発生し、スケジュール登録 API の場合、スケジュール登録に失敗します。

修正内容：

エラーが発生せず、正常に登録できるように修正しました。

ワークフローの申請書取得 API の戻り値内の添付ファイルの fileKey が正しくない (#30153)

発生条件：

申請書取得 API(Java)で申請書データを取得する

事象：

戻り値内の attachments に格納されている fileKey が正しくありませんでした。

その他、申請書取得 API(REST)でも同様の現象が発生します。

修正内容：

正しい戻り値が返されるように修正しました。

REST-API で WebDB のレコード更新時、レコードに登録されていた関連情報 URL が消える (#30702)

発生条件：

下記すべての条件を満たした場合

1. 関連情報 URL を使用する Web データベース
2. 上記 1. の Web データベースのレコードに関連情報 URL が登録されている
3. 上記 2. のレコードに対して、REST-API でレコードを更新

事象：

関連情報 URL が登録されているレコードを REST-API で更新した際に、レコードに登録されていた関連情報 URL が削除されてしまいます。

修正内容：

REST-API 経由のレコード更新時に関連情報 URL が削除されないように修正しました。

すでに不具合の影響を受けていたデータはリカバリできません。上記発生条件に該当する Web データベースにて関連情報 URL が削除されていないかご確認の上、必要に応じて関連情報 URL を登録しなおしてください。

決裁された定期券申請の定期券区間が控除されない場合がある (#30295)

発生条件：

下記前提条件を満たす運用を行っており、下記発生条件をすべて満たした場合

<前提条件>

- ・ 駅すばあと連携を使用している
- ・ 定期券申請を利用している ※定期券区間登録だけを利用している場合、本問題は発生しません。

<発生条件>

1. 定期券申請で駅すばあと用経路文字列にハイフンを含む区間を申請・決裁する

2. 交通費精算や出張精算の交通費明細で定期券区間を含む経路を申請・決裁する

※なお、「駅すばあと用経路文字列」は画面上では確認できません。駅すばあとから経路を検索して選択した時に駅すばあとから渡される内部的な情報となります。

事象：

決裁された定期券申請が、定期券区間に不整合なデータとして反映されてしまい、交通費精算や出張精算の交通費明細でその区間が交通費から控除されません。また、このデータは定期券区間一括チェックのプログラムでチェックしても検出できません。

修正内容：

決裁された定期券申請が、定期券区間に正しく反映されるように修正しました。

この不具合により、定期券区間控除されるべき区間でも定期券区間控除が行われず、社員への過払いが発生するリスクがあります。

本不具合の影響を受けたデータはスクリプトによるリカバリが行えません。上記の発生条件に該当する場合は、サポートまでご連絡ください。

仮払データが蓄積してくると仮払返金アシストメッセージの表示に時間がかかる（#30388）

発生条件：

1 ユーザの仮払返金アシストメッセージ判定対象データ（実際に表示される件数ではなく、表示するか判定しているデータも含む）が多い場合に発生します。

報告があった顧客環境では、あるユーザの仮払返金アシストメッセージ判定対象データは 380 件程度存在し、メッセージの表示に 20 秒かかっていました。

事象：

仮払返金アシストメッセージの表示で時間がかかります。

修正内容：

短い時間で表示されるように修正しました。

システム設定で支払依頼用の FB データの「顧客コード 1」の出力方法を設定できるようにし、その設定に基づいて支払依頼の FB データの顧客コード 1 を出力するように変更（#30707）

発生条件：

支払先マスタの「支払先コード」項目に半角英字を含むコードを登録している状態で、支払依頼の FB データを出力した場合

事象：

支払依頼の FB データの「顧客コード 1」には常に支払先コードが出力されるようになっておりました。しかし、銀行によっては FB データの「顧客コード 1」は数値のみ許可する仕様になっており、上記の発生条件の場合、「顧客コード 1」に半角英数が含まれていることからエラーで送信ができない問題がありました。

POWER EGG では、支払マスタの「支払先コード」は一度登録すると変更できないようになっております。そのため、運用の途中で取引銀行が変わり、FB データの「顧客コード 1」が数値のみ許可となった場合に、運用での対応が難しいと考え、今回の対応で仕様変更を行いました。

修正内容：

下記のように仕様変更を行いました。

<仕様変更内容>

- システム設定（共通番号 00001240[経理業務(FB データ作成)] F Bデータ(項目編集)) にて、支払依頼用の FB データの「顧客コード 1」の出力方法を設定できるようにしました。出力方法は下記から選択できるようにしました。
  - ・支払先コード、拡張コード 1、拡張コード 2、拡張コード 3、（出力しない）
- 支払依頼の FB データの顧客コード 1 には上記の設定に基づいて値を出力するように変更しました。

これにより下記の挙動変更があります。

修正前) 支払依頼の FB データの「顧客コード 1」には、常に支払先コードが出力される

修正後) 支払依頼の FB データの「顧客コード 1」には、システム設定（共通番号 00001240）

で設定した出力方法によって、支払先マスタの下記いずれかの値が出力される。

- ・支払先コード、拡張コード 1、拡張コード 2、拡張コード 3、（出力しない）

本パッチを適用すると、システム設定（共通番号 00001240）での初期設定は、「顧客コード 1」に支払先コードを出力する設定になります。従来通り、支払依頼の FB データの「顧客コード 1」に支払先コードを出力する場合は、本パッチを適用後も設定変更は必要ありません。

支払先コード以外を出力したい場合は設定変更を行ってください。

なお、仕様変更に伴い製品マニュアルを更新しております。下記箇所が該当しますので、あわせてご確認ください。

管理者マニュアル 経費精算申請編「経理業務の設定」-「システム設定（経理業務）」-「F B データ（項目編集）の設定」

## ● 挙動変更

以下の不具合については、パッチ適用前後で挙動変更があります。

スケジュール 1 週間画面で、「Enter」キーで検索が行われない、また、矢印キーで日付を変更する場合に日付の年が 2 桁になる（#30301）

スケジュールの 1 週間画面で Enter キーを押したときに「検索」ボタンの処理が実行されるようになります。

申請様式の設定 - 採番ルールの登録画面で、採番ルールの文字数チェックの挙動がサーバー OS によって異なる（#30197）

実行環境のデフォルトの文字コードを利用してバイト数でチェックを行っていましたが、文字数でチェックするように変更しました。

REST-API のエラー発生時のクロスサイトスクリプティング脆弱性対応 (#30368)

REST API 実行時にエラー(WSA99999SE)が発生した場合、戻り値の DETAILS にスタックトレースが含まれなくなります。

REST-API について Content-Type に誤った指定をした場合、レスポンスで HTTP STATUS 500 のエラーになるが、ステータスとして不適切であるため修正する (#30699)

REST-API について Content-Type に誤った指定をした場合、修正前はレスポンスで HTTP STATUS 500 のエラーになりましたが、修正後は 415 のエラーになります。

以上